



新体制でスタート【写真提供 西本泰輝氏 (橋場)】

令和8年度 まちづくり協議会総会開催 「住民が主役! みんなで創る『未来の久々野』」

4月24日(金)、虹流館くぐのにて「令和8年度地域まちづくり協議会総会」が開催されました。少子高齢化や担い手不足などの課題に向き合い、これからの久々野をより良くしていくため、組織体制の見直しや規約改

正などが承認されました。今年度からは岩佐誠新会長のもと新体制がスタート!岩佐会長は「住民の皆さまの声を大切に、誠心誠意取り組みたい」と力強くあいさつされました。新体制でも、スローガン

「暮らし安全、ぐるっと大自然、のびのび久々野で、エンジョイライフ」を掲げ、住民主体のまちづくりを進めます。特に今年度は、次の「3つの重点」に注力します。
◇地域の良さを再発見・豊かな自然や文化を次世代へつなぐため、SNS等を活用した情報発信を進めるほか、地域資源を活かした新たな賑わいづくりに挑戦します。

◇若者との共生:新たに「子ども食堂」の開設を進め、若者をはじめ地域の声を柔軟に取り入れながら、子どもから高齢者までが安心してつながれる場を広げます。
◇災害への備え:防災委員や防災士が連携し、地区防災計画の策定や防災学習の充実を進めることで、「自助・共助」の力を高め、安心して暮らせる地域を目指します。

さらに、補助金交付規定が見直され、町内会以外の団体でも申請しやすくなりました。「こんな活動をしてみたい」という住民の皆さんの想いを形にできる環境が整っています。

主役は住民一人ひとりです。みんなの手をとりあい、これからの久々野をさらに元気で魅力ある地域へ育てていきましょう!

久須母橋のこいのぼり

新高山市100景にも指定されている久須母橋のこいのぼり。今年も、春の空を元氣いっぱい彩りました。

4月26日(日)、久須母町内会の皆さんの手によって、飛騨川の上には長さ約100メートルものワイヤーが張られ、色とりどりのこいのぼりが1匹ずつ丁寧に空へ放たれていきました。風を受けながら悠々と泳ぐ姿はとても気持ちよさそうで、青空と川の流れによく映え、訪れる人たちの目を惹き寄せました。

ゴールデンウィーク中には、県外ナンバーの車も多く見られ、市内外からたくさんの方が訪れました。川辺を散歩したり、写真を撮ったり

しながら、約80匹のこいのぼりとともに穏やかな春のひとときを楽しむ姿が印象的でした。「毎年楽しみにしています」と声を掛けてくださる方もあり、この風景が多くの人に親しまれていることが伝わってきます。

また、市内外の皆さんから久須母町内会へこいのぼりの寄付も寄せられています。かつてわが子の健やかな成長を願って購入した大切なこいのぼりが、今度は地域の空を泳ぎ、たくさんの子どもたちを見守っている——そんな思いのつながりも、この風景の温かさの一つです。地域の皆さんの力で受け継がれる春の風物詩が、今年も多くの笑顔を運んでくれました。



こいのぼりが結ぶ、春のひととき

令和7年度収支決算のご報告 皆様の支えが「安心」と「活気」 に変わっています

皆様からお預かりした大切な会費(約242万円)と、高山市からの支援金(1,336万円)は、住民の皆様一人ひとりの生活を支える貴重な財源として、以下のように活用させていただきました。

1. 地域の「安心・安全」を直接サポート

皆様の最も身近な生活を守るため、各町内会が行う28件の地域事業に対し、総額で約241万円の補助金を交付いたしました。これにより、地域ごとの課題解決や独自のイベントがスムーズに行われています。また、夜道の安全を守る街灯の補助金(約121万円)や、地域のシンボルである久須母橋のライトアップなど、日々の暮らしに安心と彩りを添える活動を支援しました。

2. 「楽しみと交流」の場をつくる

子どもたちの笑顔あふれる「子ども会大会」や「スポーツ大会」の開催、またミヤンマー料理教室や自然体験イベントなど、世代を超えて誰もが参加できる交流の場を継続して提供しています。さらに、有道杓子などの伝統工芸を守る活動も支え、私たちのまちの誇りを次世代へつないでいきます。

3. 「まちの将来へつなげる

決算の結果、次年度へ2,866,121円を繰り越すことができました。この資金は、令和8年度の新しいまちづくりや、皆様が「任んでいて良かった」と実感できる新規事業の財源として、大切に活用させていただきます。

区分	予算額	決算額	差額	内訳
補助金	13,459,000	13,445,000	△14,000	高山市支援金 結ネット補助金
会費	2,344,000	2,420,550	76,550	会費(1世帯2,700円) 子ども会会費等
事業収入	260,000	437,160	177,160	南伊勢交流流上 物産販売等
参加負担金	540,000	540,040	40	南伊勢交流 子ども会大会 登山 各種講座参加費等
雑入	261,000	297,887	36,887	懇親会費 外部団体印刷費等
繰越金	4,158,668	4,158,668	0	令和6年度繰越金
収入合計	21,022,668	21,299,305	276,637	

部	予算額	決算額	支援金充当額	差引額	
運営費	11,307,668	10,076,406	8,681,268	-1,231,262	
組織運営費	11,307,668	10,076,406	8,681,268	-1,231,262	
運営費	11,020,668	9,733,206	8,338,068	-1,287,462	
人件費	580,000	610,000	610,000	30,000	役員報酬 規程による
報償費	50,000	22,500	0	-27,500	インセンティブ さるぼろコイン
需用費	950,000	961,221	811,876	11,221	印刷費、会議費、用紙等
役員費	790,000	764,514	747,690	-25,486	通信運搬費 保険料
旅費	300,000	248,000	248,000	-52,000	旅費 規程による
委託費	6,030,000	5,443,745	5,300,000	-686,255	人件費(有)ひだ桃源郷)
備品購入費	200,000	21,855	0	-178,145	備品購入費
使用料及び賃借料	690,000	551,171	520,502	-138,829	使用料 コピー機等
工事請負費	10,000	14,300	0	4,300	ネットワーク整備
負担金・補助金	1,420,668	1,095,900	100,000	-324,768	会議負担金等、高山市消防団久々野支部
顕彰事業	287,000	343,200	343,200	56,200	
事業費	9,715,000	8,356,778	4,678,732	-1,358,222	
地域自治部	4,953,000	4,261,081	2,966,859	-691,919	
連合町内会	4,563,000	4,046,961	2,762,739	-616,039	
連合町内会	4,133,000	3,743,094	2,458,878	-389,906	町内外灯補助、事業補助
久須母橋活性化	190,000	126,183	126,183	-63,817	設置用品、高所作業車代
転月鑑賞会	240,000	177,684	177,684	-62,316	出演謝礼、賞品、音響委託
自主防災	60,000	9,220	9,220	-50,780	
自主防災組織支援	60,000	9,220	9,220	-50,780	防災士登録
地域活性	330,000	204,900	194,900	-125,100	
地域振興計画の検討	330,000	204,900	194,900	-125,100	森林活用イベント企画運営
地域活動部	840,000	786,794	275,794	-129,842	
福祉	70,000	42,355	42,355	-27,645	
社会福祉	70,000	42,355	42,355	-27,645	印刷費、講師謝礼
環境	20,000	0	0	-20,000	
リサイクル委員会	20,000	0	0	-20,000	
イベント	80,000	148,200	148,200	68,200	イベントから
ひだ桃源郷くぐのアマゴ釣り大会	80,000	148,200	148,200	68,200	指導謝礼
地域振興	670,000	596,239	85,239	-129,842	
情報発信事業	590,000	572,320	61,320	-17,680	映像制作委託(観光協会)
駅周辺美化	30,000	1,420	1,420	-28,580	短冊 など
史跡等環境整備	50,000	22,499	22,499	-27,501	草刈り用品、燃料
生涯学習部	3,922,000	3,308,903	1,436,079	-615,097	
人づくり	2,200,000	2,332,449	616,715	132,449	
子ども育成会	560,000	493,581	122,881	-66,419	子ども会大会備品、材料、委託料
青少年育成会	205,000	178,843	174,243	-26,157	事務用品、保険、賞品
土曜教室	50,000	50,000	10,000	0	材料費、講師謝礼
乳幼児学級(未就学児教室)	40,000	39,984	31,774	-16	遊具
南伊勢交流	1,345,000	1,570,041	277,817	225,041	バス使用料、宿泊費、燃料等
文化・伝統	1,167,000	591,118	488,025	-675,885	
伝統	306,000	323,840	252,530	17,840	
高山市文化継承活用実行委員会	30,000	0	0	-30,000	
有道杓子	60,000	84,590	72,780	24,590	材料費、保険料、講師謝礼
小屋名しよけ	170,000	190,500	146,000	20,500	材料費、保険、謝礼、会場使用料
文化事業(かんどろち等)	46,000	48,750	33,750	2,750	材料費(ホスター)、景品
教養・広報	595,000	121,513	108,433	-473,487	印刷費、講師謝礼、材料費
文化・芸術	266,000	145,762	127,062	-120,238	
文化祭・芸能祭	76,000	45,322	26,622	-30,678	施設業務(音響・照明等)等
文化講座	190,000	100,440	100,440	-89,560	謝礼、郵送料
体育	555,000	385,339	331,339	-169,661	
体育委員会	555,000	385,339	331,339	-169,661	用具購入、賞品、バス使用料
総支出合計	21,022,668	18,433,184	13,360,000	-2,589,484	

限られた予算ではございますが、皆様のご協力のおかげで全ての事業を計画通り進めることができました。これからも、一人ひとりの声に寄り添った活動を続けてまいります。

第26回アマゴ釣り大会が開催されました

5月2日(土)に第26回ひだ桃源郷くぐのアマゴ釣り大会が久須母の飛騨川河川公園で開催されました。朝は冷え込みましたが、徐々に青空が広がり、お昼には少し汗ばむほどの絶好の釣り日和。

大会には、約130名の老若男女が参加され、久須母のこいのぼりを背にアマゴ釣りを楽しみました。釣り上

げた1匹の体長で競い合い、最長36cmのアマゴを釣り上げた方も。審査時には周りから「おおくでかいなあ」など、歓声が上がると盛り上がりました。

一般男子の部、一般女子の部、小学生の部各部門1位〜5位の表彰があり、久々野中学校2年生の福田樹さんが小中学生の部で見事3位に入賞されました！福田さんは早朝のアマゴ放流のボランティアにも参加するほどの釣り好きです。漁協からもスカウトの声がかかったとか。

表彰後は、お楽しみ抽選会。飛騨牛や久々野産のお米、地元の特産物が当たり、喜びを爆発させていらつしやる方も。県外、町外の方の参加

が多いので、景品で久々野のことを知っていただく機会にもなります。

参加者は、大会特別会場で1日中釣りが楽しめるため、大会が終わった後も多くの人が入川し、釣りを楽しんでいました。また来年もたくさんのご参加をお待ちしております。



入賞者の皆さん(福田樹さん前列右端)

久々野公民館でこどもの日のイベントが催されました

5月5日(火・祝)、久々野公民館で、こどもの日のイベント「こいのぼりの中をくぐろう」が催されました。普段は泳いでいるところしか見られないこいのぼりですが、禁断の体験にわくわく！体験していた子どもは楽しそうに何度も何度も行ったり来たりを繰り返していました。

NPOふるさとこの皆さんも、「こんな風に飾れんかな?」「どう飾ったらみんな喜ぶかな?」と訪れる方の笑顔を思い浮かべて、たくさん考えてくださったようです。

たまたま久々野公民館を訪れた方からは、「たくさんの五月人形に感激」「こんな楽しいイベントがあったなんて知らなかった〜!」とのお声も。まだまだ認知が少ないですが、これらの展示は5月31日(日)まで楽しめます。ひなさまのかわいらしさとはまた違う、力強い五月人形をたくさんの方に見ていただければいいと思います。

まだご覧になられていない方は是非、久々野公民館に足を運んでみてください。



元気に育て！
鯉のぼりくぐりはおもしろい

合同引き渡し訓練を実施しました

5月15日(金)、保育園・小学校・中学校合同による引き渡し訓練を実施しました。訓練では、子どもたちが在園・在校中に大雨洪水警報が発令され、飛騨川の増水や国道の通行遮断が発生した場合を想定しました。

子どもたちは職員の手指示をしっかりと聞き、落ち着いて行動することができました。また、学校からのメールを受けた保護者の皆さんも、職員の誘導に従って速やかに来園・来校され、安全に引き渡しを終えることができました。



職員の誘導で安全に保護者のもとへ

昨年6月23日には、大雨洪水警報の発令に加え、土砂崩れによる国道41号線の通行止めが発生し、実際に引き渡し対応を行いました。災害は起こらないことが一番ですが、いつ起きても不思議ではありません。日頃から訓練を重ねることで、職員や保護者が落ち着いて行動でき、子どもたちの大切な命を守ることに繋がると感じました。

高屹山 山開きふれあい登山

5月5日(火・祝)、まち協青少年育成会主催による「高屹山 山開きふれあい登山」が開催されました。澄みわたる青空のもと、一般参加者37名、スタッフを含め総勢51名が参加し、高屹山の春の自然を満喫しました。

新緑の山道では、道ばたの草花に目をとめたり、鳥の声に耳を傾けたりしながら、参加者同士の会話も自然と弾みます。今回は、遠く愛知県から小学生のお子さんと一緒に参加してくださったご家族の姿もあり、高屹山を楽しむに足を運んでくださったことに、主催者一同うれしい気持ちになりました。初めて顔を合わせた方同士でも、「あと少しです」ね「景色がきれいですね」と自然に声を掛け合う場面が多く見られ、ふれあい登山の名のとおり、温かな交流の輪が広がっていました。

約3時間かけて到着した「ふれあい広場」では、360度に広がる大パノラマが参加者を迎えてくれます。

山頂で味わうお弁当は格別。また、子どもたちはもちろん、大人も一緒に宝さがしに夢中。あちこちから歓声や笑い声が聞こえ、山いっぽいに楽しい空気が広がっていました。

親子や友人同士、ご夫婦、お一人での参加など、それぞれの形で始まった登山でしたが、下山する頃には皆さんすっかり打ち解けた様子で、笑顔で言葉を交わす姿が印象的でした。

安全に楽しく案内して下さった登山の会の皆さまにも心より感謝申し上げます。自然の魅力と人の温かさに触れる、思い出深い一日となりました。



景色の先に、温かな出会い

お知らせ

舟山文庫 開館式

令和8年5月3日(日)
無数河地区のアルプスを望む果樹園内にある「舟山文庫」(元・農業振興施設「ふれいばあ舟山」)で今年度の開館式が開催されました。

開館式では代表者 高井健太郎さんの代理で榎信好さんから「高井氏の舟山文庫に込めた思いや、設立までの苦労に触れながら、この素晴らしい景色の中で、多くの皆さんに足を運んでいただき、本に親しんでほしい」とあいさつがありました。

来賓のごあいさつの後、令和8年度の事業計画等について説明があり、スタッフの役割分担なども紹介されました。

途中、ミニコンサートが開かれ、畑谷由紀子さんの歌声が館内に響き渡りました。最後は全員で「青い山脈」を合唱し、閉会しました。

故 高井和伸氏の蔵書約4千冊は舟山文庫に収蔵されており、館内には貴重な資料や多様な全集がそろっています。

また、別棟ではブックバザールとして、一人10冊まで無料で受け取ることが出来ます。

【令和8年開館日】
5月～10月 毎週日曜日 14時～16時(入館無料)

・本館の蔵書は貸し出し可能
・別棟の図書は10冊まで無料贈呈
※いずれも当番者へお申し出ください
HP: <https://funayamabunko.com/>



高井氏の思いをつなげる
【写真提供 白田 成男 氏 (柳島)】

リサイクル資源回収結果のお知らせ

4月11日(土)、子ども会育成会・リサイクル委員会主催によるリサイクル資源回収を実施し、次のとおり多くの資源を回収することができました。

このほか、古布インクカートリッジ、ペットボトルキャップ、令和7年度可燃ごみシールも多数ご提供いただきました。

なお、可燃ごみシールは、まち協で回収しています。ご家庭に未使用のシールがありましたら、直接まち協までお届けください。1枚7円で換金されますので、ご協力をお願いします。

軽スポーツ交流会のお知らせ

◆日時 6月12日(金)10時～12時
◆会場 久々野体育館
◆内容 気軽にできる軽スポーツの体験
・デイスゲッター
・フライングデイスクを投げて9枚のパネルを狙います
・モルック
棒(モルック)を投げて12本の棒

ダンボール	6,700kg
新聞	11,970kg
雑誌	9,620kg
牛乳パック	320kg

また、ペットボトルキャップにつきましては、「Townくぐの」5月号でもお知らせしたとおり、業者の受入中止に伴い、回収を終了しました。今後は「プラスチックごみ」として、通常の収集日にお出しください。町民の皆さま、ご協力ありがとうございました。収益は、子ども会育成会やリサイクル委員会などの活動に有効活用させていただきます。

(スキットル)を倒し、50点を目指します

◆対象 どなたでも
◆持ち物 水分補給用飲み物
・屋内用運動靴、汗拭きタオル
・動きやすい服装
◆申込み 高山市社会福祉協議会 久々野支部まで電話 52-1001
◆締切り 6月5日(金)

今後のイベント・行事

★町民ソフトボール大会

6月7日(日)
久々野総合運動公園グランド

★河内路改修碑清掃ボランティア

6月7日(日)
8:30～木賊洞地内

★第14回飛騨高山ウルトラマラソン

6月14日(日)
※小屋名・大西地区を通過します

★鮎釣り解禁

6月20日(土)
【問合せ】
益田川上流漁業協同組合
TEL 0577-52-2257

★高山市消防フェスティバル2026

6月21日(日)
モンデウスパーク駐車場
※1-1(上組班)
3-2(大西班)が会場

★久々野の歴史探訪

6月28日(日)
橋場、反保地区内を予定

★ノルディックウォーキング

7月4日(土)
あららぎ湖畔

イベントが変更になる場合があります。



くぐの散歩道

「久須母橋に残したいもうひとつの風景」

今年も久須母橋の空を彩り、多くの人々を魅了したこののぼりたち。その壮大な景色の裏には、いつも地域の方々のひたむきな汗と、紡がれてきた歴史があります。

5月6日、大空を舞台にした10日間のドラマを終え、彼らが陸へと還る日がやってきました。「せーの！」の声とともに、息を合わせてワイヤーを引く地域の人々。次々と手元に手繰り寄せられていくこののぼりたち。

その時、一匹のこののぼりをそつと両手で受け止め、静かに語りかける一人の老人がいました。

「10日間、えらかったのう」

それはまるで、大仕事を終えて帰ってきた愛しい我が子の肩を抱くような、どこまでも優しく、穏やかな声でした。

新緑の山々を背に優雅に泳ぐ姿はもちろん美しい。けれど、このこののぼりたちを家族のように愛し、寄り添いながら景色を守り続ける「人の温もり」こそが、これからの未来に残したい、真の『新高山市100景』なのではないでしょうか。